



投稿ください 市民の皆さんの意見交換の場がこの市民談話室です。テーマは自由です。あなたの意見を気軽に寄せてください。採用文には謝辞を差し上げます。紙面の都合上、文を短くすることがあります。あて先は、大字白根二三五 白根市役所企画財政課広報広聴係です。

## 世界コミュニケーション年を振り返って 言葉は素敵な友との出会い

小林 範さん (中央通・英会話学校勤務22歳)

私は今、仕事の関係で毎日三人のアメリカー人と接しています。ですから当然、彼女らという時は、いつもすべて英語を使って仕事をしているわけです。毎日、英語を話していると、つくづく英語のむずかしさを実感するものです。特に、われわれのように仕事というものが間に入りますと、片言だけ話せればよいというのではすまされず、



外人に接する機会が増えた(写真は昨年の天風合戦から)

でも楽しいことですし、そこらいろいろな事を学べます。もし世界中の言葉を話すことができたなら、世界中の人と友達になることができます。私は残念ながら、まだ英語しか話すことができませんが、これから国際語とも言われる英語

### 子に接する態度 思い出多い子供に育てよう

田中令子さん (上道湯・主婦・47歳)

先日、母が世を去ったときのことである。吹雪の中を両親と一緒に小さなおいたちも、祖母の死を悔やみに来た。都会育ちの子供には雪が珍しいらしく、雪がぼそぼそ降る中、大きななまくらを二つ作った。目を輝かせ、顔をほころばせ、転びながら雪遊びをする小学校低学年、穴作りをする六年と中二の高学年組と、何の目的で田舎にきたのか忘れたように真剣に作業する。「おばさんの中に入ってみな。あったかいよ」「あとで入れてね」幼かったころ、体の冷たさをしのぎ、拍手を送ります。

わたしは、年中行事の中で、町内で作った凧を子供風合戦に上げることがいちばん楽しみます。みんな凧を作るときには、大山神社を使って、凧の絵書きや、ほねぐみ、いろいろぬりをやりたりしてみんなで作ります。わたしは、凧上げの日がくると、とてもうれしくてうれしくてたまりませんでした。凧を上手まではこんで上げる時間までまっています。けれど、まっているときでも



白根小学校6年 坂井麻由美さん



## ほくたち わたしたちの 部落・町内会

曙町  
世帯数 60世帯  
人口 220人  
(男110人 女110人)  
(2月1日現在)

### 称賛の声を送る

## 個展の売上金をポンと寄贈

東樹友次さん (鯉沼・無職・71歳)

とかく悪事をはたらくと、そのうわさはうわさを生み、限りなく広がっていく。逆に、称賛の声は消されやすく消えやすくとされるが、それでも世の中が明るくなってほしいというささやかな願いから、人様の美しい行動と行為を称賛したいと思う。このたび一市民が、チャリテイションの個展を開き、その売上金をポンと市へ寄贈された、新聞に掲載されました。この個展では、幾十年間かの

### 私の健康づくり

## 竹踏みで電気毛布など不要

川村貞子さん (上茨・農業・55歳)

最近、クロア運動、健康づくり運動が盛んに言われています。私は七年前から自分の健康づくりに取り組んでいます。毎日

をし、冷たくなった所に着物を着ますと、背中が温かく朝起きても背中がぼかばかしています。また、テレビを見ながら竹踏みをする。そして疲労回復に、手製のニンニクを使ったアリナミンを飲んでから寝床に入ります。二、三分は冷たいけれど、足の先からだんだん温かくなるので、電気毛布などは必要ありません。我が家では家族全員が竹踏みをしているので、電気毛布やアロンカなどは押し入れの中に入れてあります。皆さんも一度、竹踏みに挑戦してみてください。いかがでしょうか。血液の循環がよくなり、健康にとってもよいそうです。



わたしは、おちつかなくてたまりません。上げるときになってワアッと思えました。そして凧上げが終わってからラーメンをたべました。この子供風合戦もわたしにとって去年が最後になりましたが、楽しかった思い出を、いつまでも心に残していきたいと思えます。

### 俳句



消ゆものと思いと憎し屋根の雪  
陽を収め陽を放ちおり虹氷柱  
鬼の面中に幼子の目が遊ぶ  
湯治場の窓越しに咲く霧氷林  
節分の豆に追われる老夫婦  
鉢植えのチューリップ咲かぬまま立春迎へ  
テール赤く霧氷の峠越えて行き  
寒明けて今年の稲作占へり

坪川桐太郎 石田 豊美  
田中 昭一 真保 清三  
牛島 七郎 佐野タケ子  
中山 義英 佐藤勇一郎

### 川柳

塩引きの頭並んで春立てり  
孫抱いてまん画きかせる炬燵かな  
ほろよいの月に消えにし雪女  
聖人は弟子と連立ち雪明り  
雪明り道一筋の村を出す

須戸 義夫 大蔵 豊治  
渡辺 勤 玉木 長吉  
小林キミイ 岡村 清  
出村 恒夫 今井 七郎  
織田 セツ 今井 タエ  
竹石 甚五 佐藤トミノ

### 短歌

他人の瞳気にせず老いの露天風呂  
第三者だから気軽に良くしゃべり  
他人から見れば喜劇となる離婚  
住み込みの他人の飯にある小骨  
雪解けの春待つ除雪車が疲れ  
白鳥の一羽童話の中を飛び  
冬海ひとときわ目立つ場を選び  
どの森にしようか青い鳥がす

中村 尚治 吉川 彰  
高橋祐四雄 後藤まさの  
米野 光雄 長井 徳市  
西条 ムラ 山岡 フミ

いつ逝くもくゆる事なしと思いつつ  
今年も生きて菊を作らむ  
土柔かく春は息吹けり  
中村 京